国民の皆様から寄せられたご意見 (期間:平成24年1月12日~平成24年1月18日)

| 番号 | | ご意見及びその理由 |
|-------|--|--|
| | 原子力発電・核燃料サイクル技術等検討小 委員会(第5回)の資料、拝見しました。 福島第一原発の事故の反省と、原子力関 | 福島第一原発3号機は、MOX燃料を使用していた炉です。 その事故調査もはっきりと出ないまま、六ヶ所村の核再生施設を稼動すると、している。現在の政府に不信感を抱いています。 |
| | 連施設の運営について危機意識を。 | MOX燃料は、一度事故を起こせば、プルトニウムなどの死の灰を撒き散らす危険なもの。 そして核再生施設から出る核汚染物は、原子力発電所よりも多く、周囲の環境に悪影響を及ぼします。 |
| | | 核燃料再生、MOX燃料製造ありきの会議を進めないで、まず根本から「必要であるか?」を議論してほしい。 国民の多くは、もうこれ以上、日本のどの地域も核で汚染されたくはないと、考えています。 そして、核再生事業から撤退してほしい。 今後、研究してほしいのは、原発の安全な廃炉方法です。 |
| 10568 | | 本来なら原子炉の寿命は30年。 そこから10年も延ばし、さらに無理をした結果が、福島の事故。 しかも、古い炉でMOX燃料も使用していたという、考えられないほど甘い危機管理。 |
| | | 石油もウランも、すべては、輸入で賄っているものです。 そして、核燃料再生は、どの国も行き詰っている。 輸入に頼らない、地熱、太陽光、風力などの発電方法に力を入れるべきだと思います。あわせて、省エネ、節電の技術を高める。 |
| | | 参考資料とされている「核燃料サイクルに関するご意見」にも、推進意見が多く、これまでに寄せられた意見を作為的に使用しているように思いました。 |
| 10569 | い。我々の電気代でプルトニウムを作らないでください。核燃料再処理の費用は、福島第1事故対策、被災者補償にあてるべきです。 | 現在、核燃料再処理の費用は、我々の電気代からまかなわれており、その費用は19兆円にも達すると報道されています。しかも再処理をしない直接処分の方がはるかに安く、費用は1/5程度になるそうです。しかも再処理は技術的問題が多く、いまだに技術が確立されているとは言えない状態で、さらに本格的に運転を始めると原発よりはるかに大量の放射能を発生させ、その放射能は法的に規制されない状態です。こんな状態で電気代で核燃料を再処理してプルトニウムを作ることを許すことはできません。電気代ですからコストを優先すべきで、電気代は再処理費用を含まず、直接処分ベースとすべきです。国民のほとんどは自分の電気代でプルトニウムが作られることなど知りません。電気代の明細で、原子力関係費用を明確にすることも必要です。現在電力会社が集めている再処理関連費用は、福島第1事故対策や、被災者補償、救済、直接処分の研究等にあてるべきです。また、原発は廃止すべきだと私は思いますし、原発は基本的に今後増設しないで、古いものから廃炉にしていくとが野田首相の方針ですから、核燃料再処理を実施する必要はまったく無いと思います。コスト的にも直接処分の方がはるかに安いのに、再処理にこだわる場合は、核兵器を持つために再処理技術を持ちたいとしか思えません。でもそんな発想は、冷戦時代のもので、現在では、そんなことを考えるのはテロ国家ぐらいです。原爆と原発事故を経験した日本は、原子力から自然再生エネルギーへ転換し、自然再生エネルギーの開発を進めて世界に広めていくべきです。福島第1事故を起こしたのに、今のまま核燃料再処理にこだわっていると、核兵器にこだわるイランや北朝鮮のようなテロ国家並みの扱いしか世界にされないと思います。以上です。よろしくお願いします。 |

国民の皆様から寄せられたご意見 (期間:平成24年1月12日~平成24年1月18日)

| 番号 | ご意見の概要(100字以内) | ご意見及びその理由 |
|-------|---|--|
| 10570 | 政府は一刻も早く原発再稼働の安全基準と 手順を示すことが必要です。政府の不作為 によりこれ以上国民への無用な負担を増や すことは断じて許されません。 | 本来原子力は、中東情勢の変化による原油価格の増やシーレーンの安全確保など様々な不確定要素が多い石油エネルギーから、安 定的で無限の可能性を持つ次世代エネルギーとして国が莫大な投資をしつつ開発をしてきたものです。資源のない日本として正しい選 |
| 10571 | | 日本には沢山の原発があります。阪神淡路大震災や新潟の地震の経験が東北の地震復興の手がかりにもなれるように、今後起こりうる地震の為にも、今のうちに一刻も早く原発を、福島の人たちを助ける手立てを考えて生きましょう。 |

国民の皆様から寄せられたご意見 (期間:平成24年1月12日~平成24年1月18日)

| 番号 | | ご意見及びその理由 |
|------|--|--|
| 1057 | の核兵器開発を押し止めてきたように、 IAEAと連携してしっかりと原子力委員会が 主導権をにぎってやって下さい。 | 私は、基本的に原発の輸出には反対の立場の者です。放射能の取扱及び放射線の人体への萍郷に関しての知見等が、今般の東京電力の福島第一の原子炉の事故をめぐる報道等から、十分に蓄積されているとは思えない。同様に、それをとりまく制度がきっちりと確率しているとも考えがたい。したがって、少なくとも原子力の利用さえ数十年先に伸ばすべきだと考えています。しかしながら、水平的な核拡散の阻止のための技術先進国による紐付きの原子力AIDという方法以外に、実効性のある核不拡散の方策が思いつかない。独立後の日本国がそうであったように、科学技術の研究・開発・利用の水準が、核兵器を製造することが可能な水準に達する前に各国に対して手を打っていく必要があると思います。 最近、鈴木原子力委員会委員長代理が話しをされている映像をインターネット上で見かけるようになりました。話しの節々から、核不拡散に関して、私などでは想像もできないような知見をお持ちだと拝察するのですが、現在のところ私は前段の観点から、その点については応援をしたいと思います。 ただ願わくは、アメリカ合衆国が北朝鮮の核問題を巡る六カ国協議でやったように、可能な限り完成までに時間をかけて頂きたい。…本心としては、せめて同時に自然エネルギーの輸出も、日本の原発がバックアップ電源としての新規火発とセットで作られる如く努力して頂きたい。もちろんフェイルセーフを徹底し且つ核不拡散性が高くさらに先方の立地地域の地域社会を壊さないように十二分の社会調査などのFSを徹底するなど、厳しい条件を加えながら。 少なくともやるからには、他の国がその役割を担うよりはだいぶまし、という形で「国際社会において、名誉ある地位を占め」られうように、よろしくお願いいたします。 |
| 1057 | 原発運転期間40年以上に反対、全原発廃 炉を求む 3 | 原発運転期間に関する1/17発表部署は内閣官房でしたが、関係の深い原子力委員長に、この反対の抗議文を送信させていただきました。 1月17日に内閣官房原子力安全規制・・・準備室は「原発運転期間最長60年までを認める案」を発表しました。私は断固この発表内容に反対です。細野原発相の発言通りでも不満ではありましたが、17日の副室長の発表は大臣の規制内容を一段と緩める内容と推定されます。60年間までの延長も認めうるとのこの17日の発表に断固抗議します。本来日本の現在の原発は再稼働すべきではないというのが私の考えです。40年以上というのは、もってのほかです。17日発表内容の取り下げを求めます。 「運転期間40年以上反対。原発再稼働反対。各燃料サイクル廃止。(核のゴミは直接処分せよ)。全原発廃炉。」を求めます。 |
| 1057 | | 原発事故時のSPEEDIを参考とせず、避難支持を実測値に基づき判断するとの読売記事を読みましたが、まず第一に疑問は「国民の 避難をどうするかが見えてこない」。それと、ドイツでは緊急時の避難の訓練をして、シュミレーション画像を誰でも見れるようになってい る。日本は関係者が視察をしているようですが国民に開示がされていない。 |
| 1057 | めた原子炉40年原則を骨抜きにする内容 は国民を馬鹿にしている!! | 環境省原子力安全庁長官の細野大臣が基本原則として定めた原子炉の廃炉までの年数40年を最長20年まで延長できるとした内閣府の原子力委員会の答申は国民を馬鹿にする行為で到底認められない!!現在、九州の玄海原発1号機が40年未満の状態にも関わらず、中性子による原子炉内部の劣化が進み危険であるとの内容です。ましてや、最長60年まで認められるとすれば、以前の内容と何ら変わる事は無く、福島原発事故を受けての見直しを骨抜きにする行為であり、到底認めれない。 これ以上、国民を馬鹿にするな!! |